

新入生の皆さまへ ～チャペルへの招き～

経済学部宗教主事 舟木 讓

関西学院大学経済学部へのご入学おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染を防止し、皆さんのいのちと健康を守るために、入学式が中止となりなした。また授業開始も2週間遅れ、オンラインでの実施という、これまでに経験したことのない状況の中で、皆さまの新たな歩みが始まることとなりますが、心身の健康が守られ、良き歩みを続けられるよう祈っております。

関西学院という学校は1889年9月28日にアメリカ南メソヂスト監督教会というキリスト教組織から日本に派遣された Walter Russel Lambuth 宣教師によって設立されました。私立学校はそれぞれ建学の目的がありますが、関西学院は、キリスト教主義に基づいて単に知識だけではなく豊かな人間性を有し、それぞれに与えられた能力(talent)を磨いて、社会に貢献できる人を育てることを目的として創設されました。

「キリスト教主義に基づいて」ということは難しく聞こえますが、2千年以上前に成立したキリスト教が今日まで大切にしてきた理想・目的に沿って教育や研究、諸活動を行い、今日に至っているということです。またそれは単にお題目として存在するのではなく、各学校で礼拝という時間をもって、その意味を日々伝えていきます。大学では特別なプログラム以外は「礼拝」という呼び方はしませんが、通常は、1時限目と2時限目の間に30分間の授業がない「チャペル・アワー」という時間帯が設けられ、各学部にあるチャペルという部屋(経済学部は本館二階の東端の部屋)でキリスト教主義を体感し、関西学院の本質を深く理解してもらうためのプログラムが実施されています。例年では、新学期初めの1週間のチャペル・アワーは、新入生の方々に基礎演習別で指定された日に出席していただき学部長からのメッセージ、宗教主事、宣教師からのチャペル・アワーの説明等々を行う「チャペル・オリエンテーション」という形で実施しています。今年度はその形での実施ができませんので、こうした経済学部 HP でのメッセージという形をとっています。

通常のチャペルが開始されるまでは、こうした文書あるいは動画形式で経済学部 HP にてメッセージを発信してまいります。キリスト教でも案内がありますので、その指示に従って、どうぞ、良き出会いを果たしていただきたいと願います。

キリスト教というとなじみがない方も多いと思いますが、メッセージはクリスチャンの方だけではなく、それ以外の教職員・学生等からのメッセージも発信されます。多様性に満ちた考え方に触れる中で、様々な視点を持つ「複眼的」なものの見方を身に着け、これから皆さんの前にひろがっている無限の可能性に満ちた未来を力強く、豊かに、そして誠実に歩むための力を養っていただきたいと思います。

不安の広がる中での船出ですが、皆さまの歩みが神様に守られ、豊かな出会いと成長の日々であることを心よりお祈りしております。

改めて、ご入学おめでとうございます！！